

特別企画:三重県内企業のメインバンク動向調査（2022）

県内メインバンクシェア、百五銀行が 45.52%でトップ ～ 上位 4 位までは地元金融機関、シェア合計 83.47% ～

2020 年以降、新型コロナウイルス感染拡大により中小企業の経営環境は大幅に悪化。各地の経済を支える地域金融機関の役割が再認識される一方、人口減少、超低金利による貸出金利の低下など金融機関は厳しい経営環境が続くなか、地方銀行を中心に再編の動きが活発化もしている。三重県では 2021 年 5 月旧三重銀行・旧第三銀行の合併により誕生した三十三銀行。エリアを少し拡げて東海地区においては 2022 年 10 月、愛知県に本店を置く、愛知銀行と中京銀行による持ち株会社「あいちフィナンシャルグループ（FG）」が発足。同県下の地銀統合は戦後初となった。

コロナ禍で疲弊した中小企業への支援が、経営再建や事業承継、取引先の新規開拓など、資金繰りから企業再編・再生へと移ろうなかで、地域金融機関に求められる役割は経営の様々な場面で増している。金融機関によっては実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）などで地域密着型の経営を選択する傾向もあるなか、金利以外の魅力度を高めた金融機関が様々な課題を持つ企業から幅広い支持を得る形となり、今後メインバンクのシェアに変化が訪れる可能性がある。

帝国データバンクでは、2022 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社、三重県内約 22000 社収録、特殊法人・個人事業主含む）をもとに、企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。同調査は 2021 年 12 月に続き 14 回目。

[注] 本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

調査結果（要旨）

1. 2022 年の三重県メインバンク社数トップは「百五銀行」で企業数は 9956 社（前年から 123 社増）となり、シェアも 45.52%と前年から 0.18 ポイント上昇。2009 年の調査開始以降 14 年連続のトップとなった。2 位には三十三銀行 26.13%、3 位には桑名三重信金 7.00%、4 位には北伊勢上野信金 4.82%、ここまでのシェア合計で 83.47%を占める。
2. 業種別では、8 業種全ての 1 位を「百五銀行」、2 位を「三十三銀行」が占めた。3 位には 7 業種で「桑名三重信金」、1 業種で「北伊勢上野信金」がそれぞれを占めた。
3. 取引先の売上高が 10 億円未満までは「百五銀行」、「三十三銀行」、「桑名三重信金」が 1 位から 3 位までを占める。10 億円以上では都市銀行の三菱 UFJ 銀行が 3 位にランクイン。
4. 主要市郡（企業数上位 10 市郡）では、6 市で「百五銀行」が 1 位、四日市市、鈴鹿市、三重郡で「三十三銀行」、伊賀市で「北伊勢上野信金」がトップ。

1. 取引ランキング～ 1 位から 4 位までを地元金融機関が占め、シェア合計 8 割超

2022 年の三重県内企業のメインバンク社数トップは「百五銀行」となった。企業数は 9956 社となり、シェアも 45.52%。2009 年の調査開始以降 14 年連続のトップとなった。2 位には三十三銀行 5715 社、シェア 26.13%、3 位に桑名三重信金 1532 社、シェア 7.00%、4 位に北伊勢上野信金 1055 社、シェア 4.82%と地元金融機関が続き、ここまでのシェア合計で 83.47%を占める。なお、5 位以下には「三菱 UFJ 銀行」、6 位「中京銀行」、7 位「大垣共立銀行」、8 位「みずほ銀行」と都市銀行や県外本店の地方銀行が続いた。

社数の増加上位は、1 位の「百五銀行」が 123 社、2 位の「三十三銀行」が 47 社、4 位の「北伊勢上野信金」が 12 社、14 位の「伊勢農協」が 5 社となった。

県内メインバンク社数 上位 30 位まで

順位	金融機関	2022年			2021年			
		社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)		(社)		(pt)
1	百五	9,956	45.52%	+0.18	1	9,833	45.34%	+0.01
2	三十三	5,715	26.13%	▲ 0.01	2	5,668	26.14%	+13.31
3	桑名三重信金	1,532	7.00%	▲ 0.10	3	1,540	7.10%	+0.08
4	北伊勢上野信金	1,055	4.82%	+0.01	4	1,043	4.81%	+0.06
5	三菱UFJ	738	3.37%	▲ 0.12	5	757	3.49%	▲ 0.03
6	中京	589	2.69%	▲ 0.20	6	626	2.89%	▲ 0.03
7	大垣共立	225	1.03%	▲ 0.01	7	226	1.04%	▲ 0.04
8	みずほ	221	1.01%	▲ 0.03	7	226	1.04%	▲ 0.05
9	紀北信金	119	0.54%	▲ 0.01	9	119	0.55%	▲ 0.01
10	津信金	116	0.53%	▲ 0.01	10	118	0.54%	▲ 0.03
11	新宮信金	71	0.32%	+0.01	11	68	0.31%	▲ 0.01
12	三重中央農協	68	0.31%	+0.01	12	66	0.30%	+0.19
13	商工中金	63	0.29%	±0.00	13	62	0.29%	▲ 0.02
14	伊勢農協	61	0.28%	+0.02	17	56	0.26%	±0.00
15	南都	60	0.27%	▲ 0.01	15	60	0.28%	±0.00
16	三重北農協	59	0.27%	±0.00	16	58	0.27%	±0.00
16	愛知	59	0.27%	▲ 0.02	13	62	0.29%	+0.02
18	りそな	56	0.26%	+0.01	18	54	0.25%	±0.00
19	伊賀ふるさと農協	51	0.23%	▲ 0.01	19	52	0.24%	+0.01
20	滋賀	46	0.21%	±0.00	20	46	0.21%	▲ 0.01
21	三井住友	45	0.21%	+0.01	21	44	0.20%	±0.00
22	ゆうちょ	38	0.17%	+0.01	22	35	0.16%	+0.02
23	鈴鹿農協	36	0.16%	±0.00	22	35	0.16%	±0.00
24	東日本信濃連	33	0.15%	±0.00	24	32	0.15%	+0.15
25	三重県信連	28	0.13%	±0.00	25	28	0.13%	±0.00
26	十六	24	0.11%	▲ 0.01	26	25	0.12%	±0.00
27	紀陽	21	0.10%	+0.01	27	19	0.09%	±0.00
28	多気郡農協	16	0.07%	+0.01	28	14	0.06%	▲ 0.01
29	津安芸農協	12	0.05%	▲ 0.01	30	12	0.06%	+0.01
30	名古屋	11	0.05%	▲ 0.01	29	13	0.06%	+0.01
30	関西みらい	11	0.05%	±0.00	31	11	0.05%	▲ 0.02

2. 業種別～地元金融機関が全ての業種で上位 3 位までを占める

業種別（建設・製造・卸売・小売・運輸通信・サービス・不動産・その他産業）にみると、県内 8 業種全ての 1 位を「百五銀行」、2 位を「三十三銀行」が占める。3 位には 7 業種で「桑名三重信金」、1 業種（運輸通信）で「北伊勢上野信金」が入った。その他産業（農林水産等）では複数の農協もランクインした。

業種別 メインバンク社数 上位

建設業					製造業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)
1	百五	2,938	45.42%	▲ 0.19	1	百五	1,234	44.17%	+0.34
2	三十三	1,966	30.39%	+0.14	2	三十三	640	22.91%	+0.10
3	桑名三重信金	466	7.20%	▲ 0.04	3	桑名三重信金	261	9.34%	▲ 0.03
4	北伊勢上野信金	354	5.47%	+0.05	4	三菱UFJ	130	4.65%	▲ 0.07
5	中京	176	2.72%	▲ 0.16	5	北伊勢上野信金	122	4.37%	▲ 0.03
6	三菱UFJ	117	1.81%	±0.00	6	中京	103	3.69%	▲ 0.21
7	大垣共立	54	0.83%	▲ 0.06	7	大垣共立	60	2.15%	+0.04
8	紀北信金	44	0.68%	±0.00	8	みずほ	46	1.65%	+0.01

卸売業					小売業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)
1	百五	1,033	47.54%	+0.71	1	百五	1,301	48.19%	+0.38
2	三十三	524	24.11%	▲ 0.26	2	三十三	649	24.04%	+0.10
3	桑名三重信金	143	6.58%	+0.07	3	桑名三重信金	217	8.04%	+0.02
4	三菱UFJ	123	5.66%	▲ 0.26	4	北伊勢上野信金	138	5.11%	▲ 0.08
5	北伊勢上野信金	87	4.00%	+0.22	5	三菱UFJ	90	3.33%	▲ 0.13
6	中京	59	2.72%	▲ 0.24	6	中京	85	3.15%	▲ 0.34
7	大垣共立	42	1.93%	+0.11	7	津信金	25	0.93%	+0.01
8	みずほ	38	1.75%	▲ 0.16	8	大垣共立	22	0.81%	▲ 0.04

運輸・通信業					サービス業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)
1	百五	369	42.46%	+0.38	1	百五	2,373	47.37%	+0.30
2	三十三	245	28.19%	▲ 0.25	2	三十三	1,204	24.04%	▲ 0.19
3	北伊勢上野信金	61	7.02%	+0.08	3	桑名三重信金	277	5.53%	▲ 0.34
4	桑名三重信金	44	5.06%	▲ 0.14	4	北伊勢上野信金	195	3.89%	▲ 0.04
4	三菱UFJ	44	5.06%	▲ 0.03	5	三菱UFJ	167	3.33%	▲ 0.19
6	中京	28	3.22%	▲ 0.02	6	中京	99	1.98%	▲ 0.20
7	商工中金	14	1.61%	▲ 0.12	7	みずほ	51	1.02%	+0.01
8	みずほ	13	1.50%	±0.00	8	大垣共立	29	0.58%	▲ 0.02

不動産業					その他産業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (pt)	前年比 (pt)
1	百五	441	39.73%	+0.07	1	百五	267	35.60%	▲ 0.38
2	三十三	328	29.55%	▲ 0.03	2	三十三	159	21.20%	+0.27
3	桑名三重信金	89	8.02%	▲ 0.06	3	桑名三重信金	35	4.67%	+0.16
4	北伊勢上野信金	70	6.31%	+0.14	4	三重北農協	29	3.87%	+0.04
5	三菱UFJ	44	3.96%	▲ 0.12	5	北伊勢上野信金	28	3.73%	▲ 0.24
6	中京	31	2.79%	▲ 0.02	6	三重中央農協	25	3.33%	+0.18
7	みずほ	17	1.53%	▲ 0.19	7	三菱UFJ	23	3.07%	▲ 0.35
8	津信金	10	0.90%	▲ 0.01	8	伊賀ふるさと農協	19	2.53%	▲ 0.07

3. 取引先の売上規模別～「10 億円以上」では都市銀行が上位にランクイン

取引先の売上高規模では、売上高下位となる「5000 万円未満」から「5-10 億円未満」までは「百五銀行」、「三十三銀行」、「桑名三重信金」の3金融機関が1位から3位までを占めた。

売上高上位となる「10 億円-50 億円未満」、「50 億円以上」では「三菱UFJ 銀行」が3位、「みずほ銀行」が4位にそれぞれランクインした。

売上規模別 メインバンク社数 上位

5000万円未満					5000万-1億円未満				
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比
		(社)	(pt)				(社)	(pt)	
1	百五	4,190	45.49%	+0.07	1	百五	1,848	46.68%	+0.10
2	三十三	2,401	26.07%	▲ 0.04	2	三十三	1,049	26.50%	▲ 0.35
3	桑名三重信金	681	7.39%	+0.01	3	桑名三重信金	300	7.58%	▲ 0.13
4	北伊勢上野信金	459	4.98%	▲ 0.04	4	北伊勢上野信金	199	5.03%	+0.29
5	三菱UFJ	269	2.92%	▲ 0.10	5	中京	105	2.65%	▲ 0.01
6	中京	244	2.65%	▲ 0.16	6	三菱UFJ	99	2.50%	▲ 0.09
7	大垣共立	90	0.98%	▲ 0.03	7	大垣共立	40	1.01%	▲ 0.07
8	みずほ	68	0.74%	▲ 0.07	8	みずほ	31	0.78%	+0.11

1-5億円未満					5-10億円未満				
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比
		(社)	(pt)				(社)	(pt)	
1	百五	2,790	45.15%	▲ 0.06	1	百五	542	47.75%	+1.96
2	三十三	1,715	27.76%	+0.59	2	三十三	256	22.56%	▲ 0.92
3	桑名三重信金	425	6.88%	▲ 0.24	3	桑名三重信金	88	7.75%	+0.13
4	北伊勢上野信金	315	5.10%	▲ 0.01	4	三菱UFJ	60	5.29%	▲ 0.09
5	三菱UFJ	174	2.82%	▲ 0.10	5	中京	42	3.70%	▲ 0.15
6	中京	171	2.77%	▲ 0.44	6	北伊勢上野信金	36	3.17%	▲ 0.50
7	大垣共立	63	1.02%	+0.05	7	大垣共立	15	1.32%	▲ 0.02
8	みずほ	48	0.78%	▲ 0.06	8	みずほ	15	1.32%	▲ 0.20

10-50億円未満					50億円以上				
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比
		(社)	(pt)				(社)	(pt)	
1	百五	446	44.42%	▲ 0.01	1	百五	91	33.33%	▲ 0.38
2	三十三	214	21.31%	▲ 0.85	2	三十三	48	17.58%	▲ 0.60
3	三菱UFJ	90	8.96%	▲ 0.82	3	三菱UFJ	42	15.38%	+0.99
4	北伊勢上野信金	41	4.08%	+0.44	4	みずほ	17	6.23%	+0.55
4	みずほ	41	4.08%	▲ 0.08	5	三重県信連	8	2.93%	▲ 0.10
6	桑名三重信金	33	3.29%	+0.90	5	三井住友	8	2.93%	+0.28
7	中京	22	2.19%	+0.11	7	りそな	6	2.20%	+0.31
8	商工中金	20	1.99%	+0.22	8	中京	3	1.10%	▲ 0.42

4. 主要市郡別～地元金融機関がそれぞれ上位に

主要市郡（企業数上位 10 市郡）では、県内で企業数が最も多い四日市市をはじめ鈴鹿市、三重郡で「三十三銀行」が 1 位となった。そのほか 6 市で「百五銀行」が 1 位に。伊賀市では旧上野信金を継承する「北伊勢上野信金」が 1 位となった。

市郡別 メインバンクシェア上位 （企業数の多い上位 10 市郡）

四日市市			津市			松阪市			鈴鹿市			伊勢市		
順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア
1	三十三	36.31%	1	百五	60.59%	1	百五	44.19%	1	三十三	43.61%	1	百五	63.68%
2	百五	33.04%	2	三十三	21.18%	2	三十三	28.85%	2	百五	40.02%	2	三十三	17.96%
3	北伊勢上野信金	8.00%	3	津信金	3.38%	3	桑名三重信金	16.19%	3	北伊勢上野信金	6.80%	3	桑名三重信金	6.96%
4	三菱UFJ	5.99%	4	三菱UFJ	2.19%	4	三菱UFJ	2.92%	4	三菱UFJ	1.94%	4	中京	4.28%
5	桑名三重信金	4.91%	5	中京	1.80%	5	三重中央農協	1.79%	5	鈴鹿農協	1.55%	5	三菱UFJ	2.68%

桑名市			伊賀市			三重郡			志摩市			名張市		
順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア	順位	金融機関	シェア
1	百五	31.44%	1	北伊勢上野信金	37.41%	1	三十三	39.32%	1	百五	79.52%	1	百五	30.02%
2	桑名三重信金	26.21%	2	百五	31.05%	2	百五	29.87%	2	三十三	16.44%	2	三十三	21.18%
3	三十三	15.11%	3	三十三	12.83%	3	桑名三重信金	10.04%	3	中京	0.75%	3	北伊勢上野信金	20.44%
4	大垣共立	8.83%	4	伊賀ふるさと農協	4.60%	4	北伊勢上野信金	5.60%	4	みずほ	0.60%	4	南都	9.94%
5	三菱UFJ	7.32%	5	滋賀	3.82%	5	三菱UFJ	3.97%	5	伊勢農協	0.60%	5	中京	9.39%

5. まとめ

今年も「百五銀行」が各分野で高いシェアを保ったほか、昨年合併により誕生した「三十三銀行」、そして「桑名三重信金」、「北伊勢上野信金」など、地元根付いた金融機関がそれぞれ存在感を示した。

2020 年にコロナ禍に苦しむ企業経営を支援するために開始された「コロナ関連融資」をきっかけに地域密着型の金融機関が中心となって新たな融資を実施し、取引社数も伸ばしてきた。来年度以降は、足許の収益改善、事業承継、ウィズコロナ、DX、SDGs、BCP 対策などといった中小企業の各種課題に対し、地域を支える金融機関としてどのように伴走支援を行っていくか、メインバンクの力量をこれまでに増して問われることにもなる。

加えて、当地にも支店を有する中京銀行、愛知銀行など金融再編の進行によって変化する各金融機関の営業体制などにも引き続き注目していきたい。

【資料のお問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 四日市支店

担当：服部 TEL 059-353-3411 FAX 059-353-4109

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。